広報
やながわ
YANAGAWA 2009. 12月1日
NO.113

今号の内容 ページ

◆特集・観光柳川未来予想図 2～6
◆自動車差し押さえタイヤロックを導入 7
◆市民のひろば(8-9) ◆川柳(9) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(10-11) ◆情報わいど(12-15) ◆がんばったね(16) ◆もちふみデビュー(17) ◆保健ガイド(18-19) ◆新市史抄片(20)

伝統を胸に新たな歴史を刻む

明治45年5月30日に柳河訓盲院として創立された県立柳河盲学校が、今年の5月30日に創立100年目を迎え、11月15日、同校で記念式典が行われました。在校生や同窓生、保護者、来賓など約400人が参加。来年の4月1日からは、県立柳河特別支援学校として新しい歴史を刻んでいく同校の100年の伝統と節目の年を祝いました。

また式典の前には、同校の幼児や児童、生徒13人が和太鼓の演奏や合奏を披露。日ごろの練習の成果を発揮した見事な舞台に、会場からは大きな拍手が送られました。

新

市史抄片 57

地域の信仰

柳川市史調査の一環としてここ数年、旧大和町、三橋町の寺院・神社の調査をしている。昨年までおおよそこの地域のお寺の調査を終え、今年から神社の調査に取り掛かった。今年は天気に恵まれほとんど雨も降らず、ということは例年のことながら暑い日差しの中での汗をかきながらの調査となった。この調査の中で、そしてその後の資料を整理する作業のなかで思ったことを、少し記してみたい。

今年特に感じたのは、それぞれの地区において神様の像がたくさん造られ、大いに崇敬を集めているということである。夏の5日間で30件ほどの神社の扉を開いていただいたが、そのほとんどのお宮に、男神像、女神像、天神様、あるいは随身像、狛犬など、像の種類や作の大小の違いはあれ、大切に本殿の中にまつられていた。そしてこうした神像の像底や台座にたくさんの銘文が記されていたことも驚きであった。銘文はその像の名称や制作年（修理年）、そして寄進者、作者のことなどをはっきりと教えてくれる。

例えば五社神社（散田）に残る男神像には、弘化5（1848）年の年号と作者荒木右膳の名前などが記されていた。荒木右膳は同じく同社の祇園像にも名を記すが、その荒木の名前をほかの作例にもとめると、文化10（1813）年の王大神社（高畑）男神像に人形屋荒木伊右衛門の名を、天保6（1835）年のやすだ社（白鳥）天神像に荒木善左衛門の名を見いだすことができる。直接のつながりがあるのかどうか十分に検討を要するが、10年から20年おきに神像の制作に関わっていた荒木を名乗る人物がいたということは確認できる。また五社神社男神像には、大正10（1921）年の修理名に小柳養吉、菅吉の名が記されていた。小柳養吉の名は、明治18（1885）年の若宮神社（上塩塚）の台座に名を残すのを皮切りに、年号だけ記せば明治19年、同23年、大正10年などにこの地域の神像の修理にあたっていることがわかる。さらに大正時代の初めから藤木徳造の名を見ることができるようになり、藤木もまたいくつかの神像の修理に関わっている。

このように今年調査した神社の多くに共通する名前が見いだされる。このことは先に記したようにほとんど例外なく神像がまつられていたことと併せて、この地域の信仰の豊かさを示す証しとなろうか。地域の信仰が今もなお持続していることを実感した夏であった。

柳川市史専門研究員　橋冨博喜

▲五社神社（散田）男神像

▲王大神社（高畑）男神像

■問い合わせ
市生涯学習課市史編さん係（☎72・1275）

編集後記

●白秋祭水上パレードの取材の途中、自転車の前輪にカメラの3脚をはさみ、スポークが4本折れて大転倒。体の痛みより修理代の心配をしながら、体と自転車を引きずって職場に戻った。すぐ修理を頼み、恐る恐る修理代を聞くと「スポーク1本120円です」。財布は意外に軽症で済んだ。（勇人）

●先日、クラシック音楽のコンサートを取材。曲に聞き入ってしまい、急いで写真を撮ろうと思ったが、演奏中にシャッターの音は耳ざわり。それじゃあ演奏中の写真は撮れないとソワソワしていたら、最後の曲で会場が盛り上がりチャンス到来。会場で一人冷や汗をかいた。（賢治）

●取材先で編集後記の話題になることがある。「今度から読むのが楽しみ」と言われたり、「あれ、あなただったの…」と言われたり。あまり自慢できる話は書いていないので、後者の場合は、…の部分が非常に気になる。なぜだか身を削ってきたけれど、そろそろ路線変更しようかな。（久美子）

人のうごき

平成21年10月末現在

●人口　72,971（前月比-3）
男　34,540（+5）
女　38,431（-8）
出生　44人、死亡　63人
転入　137人、転出　121人

●世帯数　24,372世帯（+19）

●編集　柳川市／〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1 総務部企画課広報広聴係（代表）☎0944・73・8111 FAX74・1374
●ホームページアドレス　http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/　●メールアドレス　kouho@city.yanagawa.lg.jp